

Technical Data

Model	Coax 711	Coax 511	Coax 311
構成	3ウェイ パッシブラジエーター方式 フロア型スピーカー	3ウェイ パッシブラジエーター方式 トールボーイ型スピーカー	3ウェイ パスレフ型 ブックシェルフスピーカー
推奨アンプ出力	20-250W	20-250W	20-250W
能率	92dB/W/m	90dB/W/m	90dB/W/m
インピーダンス	4Ω	4Ω	4Ω
再生周波数特性	22Hz-50kHz	32Hz-50kHz	35Hz-50kHz
ユニット	C211同軸リボン x 1 22cm UHQD*ウーファー x 2 22cm UHQD*バスシブ x 2 *Ultra High Quality Driver SEAS/チタン製ボイスコイル/アルミ振動板	C111同軸リボン x 1 16cm UHQD*ウーファー x 2 16cm UHQD*バスシブ x 2 *Ultra High Quality Driver SEAS/チタン製ボイスコイル/アルミ振動板	C111同軸リボン x 1 16cm UHQD*ウーファー x 1 *Ultra High Quality Driver SEAS/チタン製ボイスコイル/アルミ振動板
クロスオーバー 周波数	500Hz/3.5kHz	600Hz/3.5kHz	600Hz/3.5kHz
入力端子	WBTターミナル バイワイヤリング可	WBTターミナル バイワイヤリング可	WBTターミナル バイワイヤリング可
サイズ	H1180 x W280x D330 mm	H1150 x W220x D250 mm	H410 x W220x D250 mm
重量	47kg	32kg	15kg
キャビネット	アルミ押し出し加工 改良型アルミ製内部補強構造 (TIM)	アルミ押し出し加工 改良型アルミ製内部補強構造 (TIM)	アルミ押し出し加工 改良型アルミ製内部補強構造 (TIM)
仕上げ	シルバー仕上げ: ポリッシュドアルミニウム/布製シルバークリルカバー	シルバー仕上げ: ポリッシュドアルミニウム/布製シルバークリルカバー	シルバー仕上げ: ポリッシュドアルミニウム/布製シルバークリルカバー
本体価格	¥2,300,000/ペア (税別) ボトムプレート付 ¥2,338,000/ペア (税別)	¥1,450,000/ペア (税別) ボトムプレート付 ¥1,488,000/ペア (税別)	¥880,000/ペア (税別)
オプション	ブラック仕上げ: ブラックアルマイト加工/ 布製ブラッククリルカバー ホワイト仕上げ: ホワイト塗装/布製ホワイトクリルカバー 追加料金: ¥100,000/ペア (税別) ボトムプレート ¥76,000/ペア (税別)	ブラック仕上げ: ブラックアルマイト加工/ 布製ブラッククリルカバー ホワイト仕上げ: ホワイト塗装/布製ホワイトクリルカバー 追加料金: ¥100,000/ペア (税別) ボトムプレート ¥76,000/ペア (税別)	ブラック仕上げ: ブラックアルマイト加工/ 布製ブラッククリルカバー ホワイト仕上げ: ホワイト塗装/布製ホワイトクリルカバー 追加料金: ¥100,000/ペア (税別) Stand LTD (Coax-Stand) ¥125,000/ペア (税別)



Coax 711



Coax 511



Coax 311

PIEGA
SWITZERLAND

PIEGA Coax Series

PIEGA
SWITZERLAND

フューレンコーディネーター ☎ 0120-004884 www.piega.jp

本カタログに掲載の情報は2017年2月現在のものです

The finest coaxial ribbon sound 2.0



PIEGA Coax Series

この16年の間、一体化されたトゥイーターとミッドレンジリボンを搭載したCoaxシリーズは、PIEGAの製品ラインナップにおいて最も注目されてきました。そして今、コンパクトサイズのブックシェルフスピーカーCoax311と高さ1メートル程のフロア型スピーカーCoax511とCoax711の2機種と共に、Coaxシリーズの2世代目が発表されました。この3モデルは、PIEGAで幅広く用いられている押し出し成形されたアルミ製キャビネットを採用しており、その結果、スピーカーの外観が優雅で美しいだけでなく、優れた安定性により、振動するキャビネットから音響エネルギーが損失することはありません。



Coax711

広めのお部屋で楽しまれ、さらに力強く深みのある低域再生を必要とされる音楽愛好家にとって、この3ウェイフロア型スピーカーは第1候補になることでしょう。大きなC211同軸リボンの下には、接続されたアンプによってアクティブ駆動されたユニット2基と、低域再生をサポートするパッシヴラジエーターが2基、合計4基の22cmウーファーによる大面積によって空気を振動させるため、ボリューム感のある低域再生の役割を担っています。

Coax511

パッフルの一番上に配置された中高域用同軸リボン C111に加え、たった22cm幅で高さ115cmのフロア型スピーカーは、4本の16cmウーファーを装備します。うち2本は接続されたアンプによってアクティブ駆動され、残りの2本はパッシヴラジエーターでCoax511が調和の取れた深い低域再生を作り出すのに一役買っています。

Coax311

本棚もしくはスタンドの上は、新しいエントリーレベルのCoax311が最もくつろげる場所です。22cm幅のパッフルでは、新しく一体化された中高域用同軸C111と16cmのUHQDウーファーが、超3次元でダイナミクス性に富み、そして正確な音楽再生の役目を果たします。PIEGA Coaxの世界への究極のご案内です!

第2世代 同軸システム C211 & C111

最高技術責任者であるKurt Scheuch (クルト・ショイヒ) 率いるPIEGAチームは、スピーカードライバーの再設計にも多くの労力を注ぎ込みました。2世代目のCoaxシステムC211 & C111は、これまで使用されたドライバー全ての要素において、更なる開発を行いました。トゥイーターリボンが実装され、中心に位置する同軸配置されたミッドレンジリボンの独創的な基本原理はもちろん維持されています。さらに強力なネオジウム磁石と特殊な高強度スチールとフェライト構造で作られたポールプレートにより、磁力線のより極度な集中が保証され高能率を確約します。フォイル振動膜下のフラットコイルのレイアウトもまた更新されました。新しいエッチング技術のおかげで充填密度を高めることが可能となり、性能(=音質)が著しく向上したのです。

最終的に、PIEGAはCoaxシステムの非常に高く評価された詳細な解像度をさらに向上させることに成功しました。フォイル膜の制振システムはフォイル自体ではなく背面の磁石に取り付けられているので、システムは音圧レベルに左右されず、よりニアに共鳴することなく再生されるのです。

UHQD 低域ドライバー

スピード感を伴う加速とダイナミクスの向上は新しいUHQD低域ドライバー開発の目標でした。SEAS (シアーズ) との共同開発により、チタン製ボイスコイルと最適化されたサスペンションがマグネットシステムを高能率化し、特殊成形されコーティングが施された、極めて高剛性なアルミ振動板のための完璧な基盤を作ります。加えて、補強されたエッジは全ての周波数レベルにおいて剛性なピストン動作のために、振動板の外端に一体化されています。フロア型スピーカーに採用されるパッシヴラジエーターと共に、最低周波数帯域までパワフルでありながら同時に軽やかな再生を実現しています。



アルミキャビネット TIM構造

2世代目となるCoaxシリーズは、コンパクトなブックシェルフスピーカーCoax 311と高さ1メートルほどの2種類のフロア型スピーカーCoax511とCoax711がラインナップされます。この3モデルは、PIEGAの特徴でもある押し出し成形された彫刻のようなアルミニウムキャビネットを採用しています。この材料は外観が優雅で気品があり、そして多種多様な形状を可能にするだけでなく、機械効率や音響効率の点にも優れた特徴を持っています。例えば、Coaxシリーズに採用されているC型の形状は安定性に長けており、キャビネット壁からの振動に起因する性能損失がなく、また、内部で干渉し合う定在波は発生しません。

一方、新しいCoaxスピーカーのために、PIEGAは筐体内部の設計も更に改良しています。いわゆる「改良型アルミ製内部補強構造 (TIM)」が筐体全体を制御された張力下に置き、内部の振動を最小限に抑えています。残存する微小共鳴は新素材の粘弾性ダンピングフィルムによって完璧に排除。前述の音響効率の革新は信じられない程の正確さと精密さで、絶対的かつ爆発的なダイナミクスとなって現れます。

スイスの技術者は見た目の美しさにもこだわりました。時代を超えたキャビネットラインを優しく洗練させただけでなく、パッフルと同一平面状のフロントカバーで一体化しました。

